◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.344　（2022年度No.22）**　 　2022/6/10

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



**麦秋　おいしいビールになあれ**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-3** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **3-11** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **11-12** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **12-17** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **17-21** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **21-35** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

6月3日　　　かわら版343号・かわら版ニュース＆トピックス241号を発行。

6月7日　　　総会。

6月7日　　　かわら版ニュース＆トピックス242号を発行。

6月10日　　かわら版344号・かわら版ニュース＆トピックス243号を発行。

6月10日　　記念講演会のZOOMアドレスを配信。

**【2022年６月17日開催の20周年記念式典についてのお知らせ】**

**記念式典は6月17日ZOOMで開催いたします**

**11時から12時（予定）まで**

**6月10日10:45にZOOMのアドレスを一斉配信いたしました**

**記念講演とアドレスは同じです**

**届いたかどうかご確認ください　動くかどうかもお試しください**

**【NPO法人食科協創立20周年記念式典実施要領】**

2022年6月17日（金）午前11時から

於：一般財団法人日本科学技術連盟本部　セミナールームE

司会進行　NPO法人食科協創立20周年記念事業実行委員長

　1　開会の辞

　2　挨　拶　　　　NPO法人食科協　理事長　馬場　良雄

　3　創立10周年以降の活動状況の概要報告

NPO法人食科協専務理事　渡邊　清孝

　祝　辞　来賓：関係行政庁（食品安全委員会　委員長）

　　　　　　　　　　　　　 　 （厚生労働省　監視安全課長）

　　　　　 　 　　賛助会員代表（東京サラヤ株式会社　代表取締役社長）

　4　感謝状授与

伊藤蓮太郎元専務理事（食科協創設メンバー）

　　　　　　　　 全国製麺協同組合連合会

一般財団法人日本科学技術連盟

　5 創立20周年にあたってのコミットメント発表

　6　閉会の辞

**【2022年６月17日開催の20周年記念講演会についてのお知らせ】**

**ZOOM参加の場合の申し込みは不要です**

**6月10日 10:45にZOOMのアドレスを一斉配信いたしました**

**届いたかどうかご確認ください**

**記念講演会は12時50分に開場いたします**

**アドレスは式典と同じなのでつなぎっぱなしでも　再入場も可能です**

**講演会は13:00～17:10まで会場での参加はまだ若干の余裕があります**

**食科協創立２０周年記念講演会概要**

１、テーマ

「食の安全に係るリスクコミュニケーションのあり方について（仮題）」

　　　　～科学的根拠に基づく食の安全情報をどのように伝えるのか～

２、開催日時：２０２２年６月１７日（金）　12:50～

３，開催場所：日科技連本部ビル　セミナールームE

　　　　　（住所：東京都新宿区西新宿2-7-1　　小田急第一生命ビル4階）

４、開催方法：①会場における聴講参加（募集人員３０名程度）

　　　　　　　②Zoomによるライブ配信（特に定員は求めない）

５、講演会次第　　午後１２時３０分開場　ライブ配信　１２時５０分から

　　12:50 開会挨拶：食科協理事長　馬場　良雄

　　13:00～14:00

基調講演：「食品安全委員会としてのリスクコミュニケーションを含むリスクアセスメントへの取り組み」

　食品安全委員会　山本委員長

　　14:00～14:50

「メディアは食品安全情報をどのように伝えるのか」

日経BPメディアビジネス　Nブランドスタジオ

　　　　　　　　　　　　　シニア・エディター　中野　栄子氏

14:50～15:00　　（休憩）

　　15:00～15:50

　　「科学的根拠に基づくリスクコミュニケーションへのあり方」

　　　　　　　　NPO法人食の安全と安心を科学する会理事長 山崎　毅氏

※講演の題目はあくまでも仮題です

15:50～16:00　　（休憩）

　16:00～17:10　講演者によるパネルディスカッション

　　＊それぞれの立場から講演内容の補足とリスクコミュニケーションに対する考え方の表明、事前に受けた質問への応答

座長・コーディネーター：森田　満樹（食科協）

　　17:10　閉会挨拶　食科協　専務理事　渡邊　清孝

記念講演会実施に際して、講演資料及び食科協のこれまでの歩みなどの活動状況をまとめたものをDVDにして（配布済　届いていない方　不備のある方は至急お知らせください）

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人)  
<https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***「2021年　海外情勢報告」（本文）　2022/6/9**

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kaigai/22/>

**■***NEW***令和4年6月13日指定成分等含有食品等との関連が疑われる健康被害情報への対応ワーキンググループ（第２回）資料（非公開）　2022/6/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26033.html>

**■***NEW***第75回WHO総会結果（概要）　2022/6/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kokusai/tp210607-01_00002.html>

**■***NEW***令和３年度第31回医薬品等安全対策部会安全対策調査会 議事録　2022/6/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26144.html>

**■***NEW***令和３年度第29回医薬品等安全対策部会安全対策調査会 議事録　2022/6/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26141.html>

**■***NEW***第80回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和4年度第5回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）（ペーパーレス、Web会議）の開催について　2022/6/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26041.html>

**■***NEW***薬事・食品衛生審議会薬事分科会血液事業部会令和４年度第１回運営委員会資料**

**議題　2022/6/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26025.html>

**■***NEW***2022年3月28日　第25回厚生労働統計の整備に関する検討会　議事録　2022/6/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26009.html>

**■***NEW***食品衛生法施行規則の一部を改正する省令案等（炭酸水素カリウム等関係）に関する御意見の募集について　2022/6/6**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495220054&Mode=0>

**受付開始日時　2022年6月6日0時0分　受付締切日時　2022年7月5日23時59分**

**■***NEW***その他の感染症　2022/6/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■***NEW***小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年6月3日）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26059.html>

　　世界各国において小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。世界保健機関（WHO）では、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

　厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

　　暫定症例定義（※）に該当する2021年10月１日から2022年６月２日10時までの累積報告症例数を別添の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

　　厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

　　報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和４年４月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の１、２、３のいずれかを満たすもの：

１ 確定例 現時点ではなし。

２ 可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)又はアラニントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

３ 疫学的関連例 ２の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年6月3日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000946999.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■***NEW***疾病・障害認定審査会 (感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会)　審議結果　2022/6/2**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25968.html>

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000946675.pdf>

**■サル痘について　2022/6/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html>

　１　サル痘

サル痘とは？

1　病原体　ポックスウイルス科オルソポックスウイルス属のサル痘ウイルス

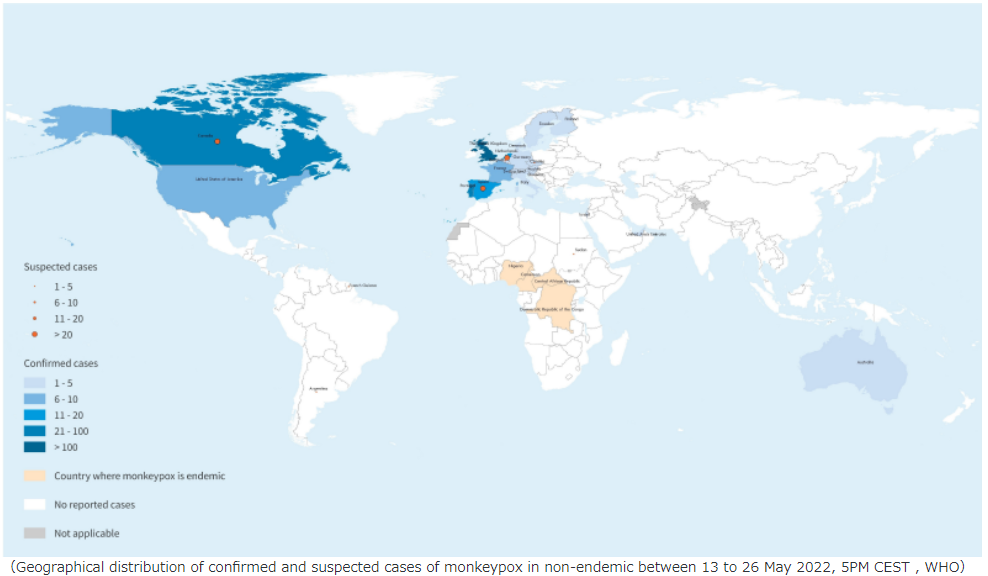
２　感染経路

アフリカ生息するリスなどの齧歯類をはじめ、サルやウサギなどウイルスを保有する動物との接触によりヒトに感染する。

また、ヒトからヒトに感染することがあり、主に接触感染、飛沫感染をするとされている。

3　世界での発生状況

2022年5月29日時点の、サル痘非流行国の発生状況は以下のとおり。



　このほか、2021年12月15日から2022年５月17日までの期間に、カメルーン（25例）、中央アフリカ共和国（８例）、コンゴ民主共和国（1284例）、ナイジェリア（46例）、コンゴ（２例）において、サル痘患者の発生が確認されている。

４　潜伏期　６～１３日（最大５～２１日）

５　治療と診断

（１）臨床症状：

・発熱、頭痛、リンパ節腫脹などの症状が０-５日程度持続し、発熱１-３日後に発疹が出現。

・皮疹は顔面や四肢に多く出現し、徐々に隆起して水疱、膿疱、痂皮となる。

・多くの場合２-４週間持続し自然軽快するものの、小児例や、あるいは曝露の程度、患者の健康状態、合併症などにより重症化することがある。

・皮膚の二次感染、気管支肺炎、敗血症、脳炎、角膜炎などの合併症を起こすことがある。

（２）診断：

・主に水疱や膿疱の内容液や蓋、あるいは組織を用いてPCR検査で遺伝子を検出することが有用である。

・その他、ウイルス分離・同定や、ウイルス粒子の証明、蛍光抗体法などの方法が知られている。

　　（３）治療：・対症療法

６ 予防法

・天然痘ワクチンによって約85%発症予防効果があるとされている。

・流行地では感受性のある動物や感染者との接触を避けることが大切である。

２　自治体、医療機関向けの情報

サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（令和４年6月1日事務連絡）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000945942.pdf>

サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（令和４年５月20日事務連絡）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000942303.pdf>

３　関連情報

届出基準

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-13.html>

４ リンク

サル痘とは（国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>

アフリカ大陸以外の複数国で報告されているサル痘について（第１報）（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/cepr/Monkeypox/220524_NIID_monkeypox_multicountry.pdf>

FORTH（厚生労働省検疫所）

<https://www.forth.go.jp/index.html>

海外安全情報（外務省ホームページ）

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

保健所管轄区域案内（厚生労働省ホームページ）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/hokenjo/>

世界保健機関（WHO）

[https://www.who.int/health-topics/monkeypox#tab=tab\_1](https://www.who.int/health-topics/monkeypox%23tab=tab_1)

**■その他の感染症　2022/6/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■熱中症関連情報　2022/6/1**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/index.html>

**■化学物質による労働災害防止のための新たな規制について　2022/5/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25984.html>

**■令和３年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」(確定値)を公表します　2022/5/31**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25950.html>

**～WBGT値を実測して備え、体調不良時には直ちに対応を～**

　厚生労働省では、令和３年の「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（確定値）を取りまとめましたので、公表します（別添１参照）。

　令和３年における職場での熱中症※１による死傷者（死亡・休業４日以上）は、561人（前年比398人・41％減）であり、全体の約４割が建設業と製造業で発生しています。入職直後や夏季休暇明けで明らかに暑熱順化が不足している とみられる事例、 WBGT※２ を実測せず、その結果として WBGT 基準値に応じた必要な措置が講じられていなかった事例等も見られ ています 。

　また、熱中症による死亡者数は20 人（前年比２人・ 10％減）であり、 死亡災害の発生は８月に集中しており、建設業（11人）や商業（３人）で発生しています。死亡災害には、「休ませて様子を見ていたところ容態が急変した」、「倒れているところを発見された」など、管理が適切になされておらず被災者の救急搬送が遅れた事例が含まれてい ます。

　それぞれの作業場では、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を踏まえ、「初期症状の把握から緊急時対応までの体制整備」、「暑熱順化※３ が不足していると考えられる者の把握」、「WBGT値の実測とその結果を踏まえた対策の実施」を重点的に取り組んでください。なお、新型コロナウイルス感染症対策のためのマスクの着用の考え方については、別添３のリーフレットをご参照ください。

＊１ 熱中症とは

高温多湿な環境下において、体内の水分と塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称。めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐（おうと）・倦怠（けんたい）感・虚脱感、意識障害・痙攣（けいれん）・手足の運動障害、高体温などの症状が現れる。

＊２ WBGT値とは

気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数。

＊３ 暑熱順化の不足とは

暑熱環境下での作業に身体の体温調節や循環の機能が慣れていないこと。入職直後や夏季休暇明けの者は暑熱順化の不足が疑われ、熱中症の発症リスクが高い。

**「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」実施中（５月１日から９月30日まで）**

別添１ 「令和３年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確定値）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/000774750.pdf>

別添２　令和４年「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」実施要綱

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/000774751.pdf>

別添３　リーフレット「屋外・屋内でのマスク着用について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/000774763.pdf>

参考１　リーフレット「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/000774764.pdf>

参考２　職場における熱中症ポータルサイト

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

**■白書、年次報告書　2022/5/31**

<https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/index.html>

**■消費生活協同組合（連合会）実態調査　2022/5/30**

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/98-1.html>

**■小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月27日）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25927.html>

　世界各国において小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。世界保健機関（WHO）では、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

　　厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

　　暫定症例定義（※）に該当する2021年10月１日から2022年５月26日10時までの累積報告症例数を別添の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

　　厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

　　報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和４年４月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の１、２、３のいずれかを満たすもの：

１確定例 現時点ではなし。

２可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)又はアラニントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

３疫学的関連例 ２の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月27日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000943434.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■令和４年５月13日　第79回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第３回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2022/5/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25727.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２９０報）　2022/6/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25693.html>

**１　自治体の検査結果**

**岩手県、宮城県、仙台市、山形県、群馬県、川越市、千葉県、東京都、杉並区、横浜市、新潟県、大阪市、徳島県**

**※ 基準値超過　11件**

**No. 118 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 170 Bq / kg )　栗原市**

**No.1699 　　宮城県 　　タラノメ 　　　（Cs ： 120 Bq / kg )****栗原市**

**No.1700 　　宮城県 　　タラノメ 　　　（Cs ： 370 Bq / kg )　栗原市**

**No.1701 　　宮城県 　　タラノメ 　　　（Cs ： 180 Bq / kg )　栗原市**

**No.1731 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 140 Bq / kg )　栗原市**

**No.1733 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 260 Bq / kg )　栗原市**

**No.1734 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 150 Bq / kg )　栗原市**

**No.1735 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 220 Bq / kg )　栗原市**

**No.1736 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 190 Bq / kg )　栗原市**

**No.1737 　　宮城県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 200 Bq / kg )　栗原市**

**No.1763 　　新潟県 　　コシアブラ 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　南魚沼市**

**３ 国立医薬品食品衛生研究所における検査**

**※　基準値超過　１件**

**No. 6 　　山形県　　 コシアブラ　　 （Cs ： 130 Bq / kg )　米沢市**

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２８９報）　2022/5/30**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25586.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２８８報） 2022/5/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25566.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.11/ 2022（2022.05.25）　2022/5/25**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202211m.pdf>

**目次**

**【米国食品医薬品局 食品安全応用栄養センター（US FDA CFSAN）】**

1. 環境制御型農業（CEA）で生産された包装済み葉物野菜によるサルモネラ感染アウトブ　レイクの調査に関する報告書を発表

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 5 月 17、16、13、11 日付更新情報）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. ピーナッツバターに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella　Senftenberg）感染アウトブレイク（2022 年 5 月 21 日付初発情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. ECDC-EFSA 合同迅速アウトブレイク評価：チョコレート製品に関連して複数国にわたり発生しているサルモネラ（単相性 Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイク

（2022 年 5 月 18 日付更新情報）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 欧州委員会（EC）指令 2003/99/EC の枠組みにおける人獣共通感染症とその病原体およびその他の病原微生物に関する 2021 年の情報の報告方法マニュアル

**【英国保健安全保障局（UK HSA）】**

1. イングランドでノロウイルス感染アウトブレイクが増加中

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. アイルランド食品安全局（FSAI）の相談窓口が 2021 年に対応した食品関連の苦情は3,414 件

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）設立 20 周年 － リスク同定と健康保護に携わった 20 年

**【ニュージーランド第一次産業省（MPI, NZ）】**

1. 食品回収に関する新ガイダンス

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（17）（16）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.11/ 2022（2022.05.25）　2022/5/25**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202209c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202209c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【EFSA】 フタル酸エステル類と他の可塑剤：再評価の優先順位**

欧州食品安全機関（EFSA）が、食品接触物質（FCM）に使用される可塑剤のフタル酸エステル類、その構造的類似物質、代替物質について、再評価の優先順位付けを行った。対象は EU や国によって FCM への使用が認可されている物質のみとして、リスク評価が最後に実施された年を指標に 3 グループ（古い順に優先度が高・中・低）にランク付けした。今後、暴露評価に必要となる食品や FCM 中の濃度データの募集を予定している。

**【FDA】 FDA は食品包装材における特定のフタル酸エステル類の使用を制限し、最新の食品接触用途及び安全性データに関する情報提供を求める文書を発行する**

米国食品医薬品局 (FDA) は、食品接触用途のフタル酸エステル類に関する食品添加物請願 2 件と、市民請願 1 件に対する回答を発表した。うち 1 件の食品添加物請願を受け入れ、産業界によって使用が放棄されているとの理由に基づき、23 種のフタル酸エステル類と他 2 物質について認可を取り消した。結果的に、食品接触用途の使用認可は残りの 9 種に限定されることになり、それらのうち可塑剤としての使用が認められている 8 種について、最新の使用実態や食事暴露量、安全性に関する情報提供を呼び掛けた。

**＊ポイント：**EFSA と米国 FDA から同じタイミングで食品接触物質に使用されるフタル酸エステル類に関する記事が発表されました。当初の規制から数年が経過し、フタル酸エステル類の使用が減少している現状を反映させるために規制を見直すための取組です。

**【FSA】 アクリルアミド**

アクリルアミドは、ジャガイモやパンなどのデンプンを多く含む食品を高温（120℃以上）で調理すると生成される副生成物である。英国食品基準庁（FSA）は、英国毒性委員会（COT）がレビューした最近の研究では、家庭でジャガイモを冷蔵庫で保管しても冷暗所と比べてアクリルアミドの大幅な増加は見られないことが示されているとして、家庭でのジャガイモの保管には冷蔵庫と冷暗所のいずれを選択してもよいと助言を更新した。

**＊ポイント：** 食品中のアクリルアミドは、食品に含まれるアミノ酸の遊離アスパラギンと還元糖が反応して生成します。以前は、ジャガイモを低温下で長期間保管すると還元糖が増加するために冷蔵庫での保管はしないよう助言していましたが、家庭の冷蔵庫で保管する程度であれば還元糖の増加量はたいしたことはなく、それよりも低温保管による品質維持と食品廃棄の低減化の方が大切だと判断されたようです。また EFSA が、遺伝毒性に関する最新情報をまとめ、以前の結論を支持するものであったことを報告しています。

**【FDA】 FDA は NDI 執行裁量のガイダンス案を発表**

米国 FDA は、ダイエタリーサプリメント健康教育法（DSHEA）のもと、新規ダイエタリー成分（NDI）及び NDI 含有ダイエタリーサプリメントを市販する場合には、その 75日前までに FDA へ通知することを事業者に義務づけている。しかし、市販前通知をせずに流通している製品があるため、FDA は、限定的に事業者が不履行の市販前通知を提出できるようにする執行裁量に関するガイダンス案を発表した

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第862回）の開催について　2022/6/9**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年6月14日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　・遺伝子組換え食品等「線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151」に係る食品健康影響評価について

　 ・遺伝子組換え食品等「JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ」に係る食品健康影響評価について

（２）「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針の一部改正（案）」について

（３）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、6月13日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、6月14日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物の新たな評価方法による食品健康影響評価について」を掲載しました　2022/5/25**

<https://www.fsc.go.jp/senmon/doubutu/>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年5月7日から令和4年5月20日）2022/6/3**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2022&from\_month=5&from\_day=7&to=struct&to\_year=2022&to\_month=5&to\_day=20&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=5&from_day=7&to=struct&to_year=2022&to_month=5&to_day=20&max=100%20)

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***シンガポール向け家きん由来製品の輸出再開について（秋田県及び青森県）　2022/6/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220609.html>

　　本日より、秋田県及び青森県からのシンガポール向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、高病原性鳥インフルエンザが発生した12県のうち、9県についてシンガポール当局から清浄性が認められ、輸出を再開してきたところ、今般、秋田県及び青森県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所においてシンガポール向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、残る北海道についても、早期に輸出再開できるよう協議を行ってまいります。

＜2021年1-12月の輸出額＞

シンガポール向け鶏肉：輸出実績なし（鶏肉の総輸出額13.0億円）

シンガポール向け鶏卵：1.3億円（鶏卵の総輸出額58.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月12日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年1月26日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年2月22日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年3月22日：千葉県及び岩手県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年4月8日：青森県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年4月16日：北海道からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年4月19日：秋田県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年5月6日：宮城県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年6月9日：秋田県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

参考

動物検疫所ホームページ　URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/6/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220608.html>

　　農林水産省は、6月8日（水曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ノースダコタ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ノースダコタ州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年6月8日（水曜日）にノースダコタ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和4年4月1日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ノースダコタ州マクヘンリー郡（発生郡）

　※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2022/6/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220607.html>

　　農林水産省は、今般、フランスのオー・ラン県における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

フランスのオー・ラン県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、令和3年3月以降、同県からの生きた家きん、家きん肉等について輸入を一時停止していました。

2.対応

今般、フランス家畜衛生当局から我が国に提供された鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、オー・ラン県の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付で当該一時輸入停止措置（※）を解除しました。

**※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/6/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220606_4.html>

　　農林水産省は、6月6日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ジョージア州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ジョージア州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年6月6日（月曜日）にジョージア州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

ジョージア州全域

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ジョージア州トームス郡（発生郡）

**■***NEW***北海道網走市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内25例目）に係る移動制限の解除について　2022/6/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220606_3.html>

**北海道は、網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内25例目）に関し発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年6月6日（月曜日）午前0時（6月5日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。**

**1.経緯及び今後の予定**

**（1）北海道は、網走市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内25例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました**

**（2）北海道は、網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月30日（月曜日）20時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。**

**（3）今般、北海道は、国内25例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年5月15日の翌日から起算して21日が経過する令和4年6月6日（月曜日）午前0時（6月5日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。**

**2.その他**

**（1）我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えています。**

<https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html>

**（2）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします**

**（3）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いいたします。**

**3.参考**

**北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内25例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220514.html>

**北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内25例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220518.html>

**北海道網走市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内25例目）に係る搬出制限の解除について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220531.html>

**■***NEW***岩手県一関市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内24例目）に係る移動制限の解除について　2022/6/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220606.html>

岩手県は、同県一関市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内24例目）に関し、発生施設から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年6月4日（土曜日）午前0時（6月3日（金曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）岩手県は、同県一関市の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内24例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生施設の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生施設の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）岩手県は、同県一関市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月28日（土曜日）16時に発生施設の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、岩手県は、国内24例目の移動制限区域について、全ての発生施設の防疫措置が完了した令和4年5月13日の翌日から起算して21日が経過する令和4年6月4日（土曜日）午前0時（6月3日（金曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

2.その他

（1）我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えています。

<https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html>

（2）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、プライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。

（3）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いいたします。

3.参考

岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内24例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220512_5.html>

岩手県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内24例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220513_1.html>

岩手県一関市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内24例目）に係る搬出制限の解除について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220530.html>

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/6/2**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220602.html>

**農林水産省は、6月1日（水曜日）に英国のシェトランド諸島からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**英国のシェトランド諸島の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年6月1日（水曜日）にシェトランド諸島からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました**

**（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■ウクライナ情勢を踏まえた食料安全保障についてEUと意見交換　2022/6/1**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/220601.html>

　　令和4年5月31日（火曜日）、日EU・EPA農業協力専門委員会第3回会合をベルギーで開催しました。我が国からは新井農林水産審議官が出席し、ウクライナ情勢を踏まえた食料安全保障や持続可能な農業に関する日EU間の協力促進について議論しました。

1.日EU・EPA農業協力委員会とは

「日EU・EPA農業分野における協力に関する専門委員会（農業協力委員会）」は、日EU・EPA協定第19章（農業分野における協力に関する章）に基づき、主に日EU間の農業分野における円滑な日EU・EPAの実施のために意見交換を行う次官級会議です。本委員会は、令和元年に第1回が開催され、原則年一回、日本とEUで相互に開催することとしています。

2.第3回農業協力委員会の概要

今回の日EU・EPA農業協力委員会には、日本側から新井農林水産審議官（日本側代表）、EU側からヴォルフガング・ブルチャー欧州委員会農業・農村開発総局長（EU側代表）、及びそれぞれの関係者が出席しました。

今回の会議では、日EU間の農業分野の協力促進のため、ウクライナ情勢を踏まえた食料安全保障、持続可能な農業政策等を議論しました。

具体的には、ウクライナ情勢を踏まえた食料安全保障に関する日EUの取組として、ウクライナへの食料支援等について情報共有を図るとともに、今月の第12回WTO閣僚会合、8月の第8回アフリカ開発会議（TICAD8）、さらには我が国が議長国となる来年のG7に向けて食料安全保障分野で日EUが協力することを確認しました。また日EU双方の持続可能な農業政策について日本側からは「みどりの食料システム戦略」と本年4月に成立した「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律 （通称：みどりの食料システム法）」を、EU側からは「欧州グリーンディール」、「農場から食卓へ（Farm to Fork）戦略」、「EU共通農業政策」（CAP）をそれぞれ紹介し、持続可能な食料システムへの変革の重要性を再度確認しました。

また、EUの放射性物質輸入規制の早期撤廃に向けた要請も行いました。

次回会合については、日本側での開催に向けて、EU側と調整していくこととなりました。

　お問合せ先

輸出・国際局国際地域課

担当者：東川、吉持

代表：03-3502-8111（内線3471）　ダイヤルイン：03-3502-5929

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***株式会社あきんどスシローに対する景品表示法に基づく措置命令について**

**2022年06月09日**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/029023/>

**消費者庁は、本日、株式会社あきんどスシロー(以下「あきんどスシロー」といいます。)に対し、同社が供給する「新物!濃厚うに包み」と称する料理、「とやま鮨し人考案 新物うに 鮨し人流3種盛り」と称する料理及び「冬の味覚!豪華かにづくし」と称する料理に係る表示について、消費者庁及び公正取引委員会(公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所)の調査の結果を踏まえ、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第3号(おとり広告)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令(別添参照)を行いました。**

**公表資料**

**株式会社あきんどスシローに対する景品表示法に基づく措置命令について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms208_220609_01.pdf>

**■***NEW***食品表示の適正化に向けた取組について　2022/6/8**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/029061/>

　　消費者庁は、食品衛生の監視指導の強化が求められる夏期において、食品の表示・広告の適正化を図るため、都道府県等と連携し、食品表示法等の規定に基づき下記の取組を実施することとしましたので、お知らせいたします。

公表資料

食品表示の適正化に向けた取組について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms214_220608_01.pdf>

**■***NEW***消費者白書　令和4年版　2022/6/7**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/white_paper/#white_paper_2022>

**■***NEW***「令和3年度特定保健用食品の疾病リスク低減表示に係る調査・検討事業」調査報告書の公表について　2022/6/7**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/information/research/2021/#food220608](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2021/%23food220608)

**■***NEW***消費者意識基本調査　2022/6/7**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_002/>

**■***NEW***株式会社ココカラケアに対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/6/7**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/029017/>

　　消費者庁は、本日、株式会社ココカラケアに対し、同社が供給する「SIXPACK EXCERSIZE(シックスパックエクササイズ)」と称するシャツ、「SIXPACK EXCERSIZE for Biz(シックスパックエクササイズフォービズ)」と称するシャツ、「SIXPACK EXCERSIZE short run(シックスパックエクササイズショートラン)」と称する下着及び「モアキュット」と称する下着に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

　公表資料

株式会社ココカラケアに対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_01.pdf>

別紙1

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_02.pdf>

別紙2

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_03.pdf>

別紙3

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_04.pdf>

別紙4

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_05.pdf>

参考

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_06.pdf>

別添1ないし4

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220607_07.pdf>

**■***NEW***食物アレルギー表示制度に関する実態調査業務調査報告書を公表しました。2022/6/7**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/information/research/2021/#food220331](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2021/%23food220331)

**■***NEW***令和3年度食物アレルギーに関連する食品表示に関する調査研究事業報告書を掲載しました。**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/food\_sanitation/allergy/#research](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_sanitation/allergy/%23research)

**■***NEW***消費者庁をかたる商品の送り付けに御注意ください　2022/6/3**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028983/>

　　消費者庁をかたり、注文していない商品を着払いで送り付ける事案が発生していることが報告されています。消費者庁から、消費者の皆様に着払いで商品を送り付けたり、商品を送り付けて代金の支払を請求したりすることはありません。

不審な荷物が届いたら受け取らないようにしましょう。

**詳細**

**報告されている事案について**

送り主やその住所の記載が消費者庁となっている着払いの荷物が、個人宅に届いたという事案があったとの情報が寄せられました。

消費者庁から、消費者の皆様に着払いで商品を送り付けたり、商品を送り付けて代金の支払を請求したりすることはありませんので、十分に御注意ください。

**一方的な送り付けがあったときの対応**

本件にかかわらず、もし、一方的に荷物が送り付けられた場合には、以下のように対応しましょう。

まずは、身に覚えのない商品が届いた場合には、受け取らないようにしましょう。 着払いであれば、注文した商品ではない旨を運送業者に伝えた上で、代金を支払わないようにしましょう。

自分宛てに送られてきた注文していない商品は、仮に受け取ってしまった場合でも、直ちに処分することが可能です。また、事後的に金銭の支払を請求をされた場合にも、支払う必要は全くありません。

対応に困った場合には、最寄りの消費生活センターに相談しましょう。 (困ったときは、一人で悩まずに消費者ホットライン「188(いやや!)」 に御相談ください。)

また、以下の関連リンクも御参照ください。

関連リンク

身に覚えのない自分宛ての商品が届いたあなた その商品、直ちに処分できます! 支払も不要です!

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_transaction/amendment/2021/notice/index.html>

**■ウェブサイト上で「お得な定額パック 定額パック料金は、全てが込み込みの料金」などの広告・表示をして不用品・粗大ごみ回収サービスを提供する事業者に関する注意喚起　2022/6/1**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028878/>

　ウェブサイト上で「お得な定額パック 定額パック料金は、全てが込み込みの料金」などの広告・表示をして不用品・粗大ごみ回収サービスを提供する事業者に関する注意喚起を行いました。

詳細

令和元年9月から、不用品・粗大ごみ回収サービス(以下「不用品等回収サービス」といいます。)を提供する事業者のウェブサイト上に表示された「お得な定額パック 定額パック料金は、全てが込み込みの料金。」、「追加費用一切なし! 定額パック料金に全て含まれています。」などの広告を閲覧した消費者が、定額パック料金だけを支払えば不用品等回収サービスの提供を受けられるものと思い、同サービスの提供を受けたところ、「定額パック料金以外に、ウェブサイトに表示されていなかった処分費用等の名目で想定していたよりも高額な料金を請求された。」といった相談が、各地の消費生活センターなどに数多く寄せられています。

消費者庁並びに福岡県及び熊本県が合同で調査を行ったところ、ADW株式会社及び株式会社Triple R(以下「本件事業者」といいます。)による、消費者の自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがある行為(虚偽・誇大な広告・表示)を確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼び掛けます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

ウェブサイト上で「お得な定額パック 定額パック料金は、全てが込み込みの料金」などの広告・表示をして不用品・粗大ごみ回収サービスを提供する事業者に関する注意喚起

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_policy_cms103_220601_0001.pdf>

**■沖縄特産販売株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/6/1**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028836/>

　　消費者庁は、沖縄特産販売株式会社に対し、同社が供給する「養力珪素」と称する食品に係る表示について、消費者庁及び内閣府沖縄総合事務局の調査の結果を踏まえ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

公表資料

沖縄特産販売株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220601_01.pdf>

別紙1

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220601_02.pdf>

別紙2

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220601_03.pdf>

参考1～参考2

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220601_04.pdf>

別添

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220601_05.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★九州コーケン「食用油脂：Poi! CBD オイル」 - 返金／回収　製造許可範囲外での生産品　2022/6/9**

**★九州コーケン「食用油脂：CBDオイル5%/10%(オレンジ、ブルーベリー、レモン、ココア/無香料)」 - 返金／回収　製造許可範囲外での生産品　2022/6/9**

**★イオン「ベストプライス　ミックスゼリー、ぶどう&アロエ、ヨーグルトデザート、白桃ゼリー、みかんゼリー」 - 返金／回収　原料原産地表示の欠落、賞味期限の不適切な表示（期限を短く表示）　2022/6/8**

**★西友（長野県）「国産若どり皮なしむね肉」 - 返金／回収　保存方法（保存温度4℃以下）の表示欠落　2022/6/8**

**★姫太郎「パック肉うどん、パック肉そばパック中華そば、パック匠のたぬきそば」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：2022.06.30、正：2022.05.30）　2022/6/8**

**★サンデイリー「ヤマナカスター焼そば3食入」 - 返金／回収　変色がありカビによる汚染と考えられるため　2022/6/7**

**★浅野基「食品自動販売機：ショートケーキ缶、ティラミス、マカロン、他3品目」 - 返金／回収　菓子製造業許可が必要な商品を、菓子製造業許可の許可を取得していない施設で製造したため　2022/6/7**

**★広島北部農業協同組合「キャベツ」 - 回収　残留農薬（フェニトロチオン）基準値0.01ppmの超過のおそれがあるため　2022/6/6**

**★ファミリーマート「シャカふりサラダ」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」「ごま」の表示欠落　2022/6/6**

**★横山製菓芳房堂「大納言小豆とバナナのカップケーキ」 - 返金／回収　カビによる汚染　2022/6/3**

**★久田則雄「おびすやの青のり佃煮、おびすやのピリカラ青のり佃煮」 - 回収　カビによる汚染　2022/6/3**

**★ライフコーポレーション「あじが主役のお造り盛合せ」 - 返金　消費期限の誤表示（誤：22.6.3、正：22.6.2）　2022/6/3**

**★丸荒「殻付ホタテ」 - 回収　麻痺性貝毒の規制値（4.0MU/g可食部）を超過する7.6mu/g可食部が検出されたため　2022/6/3**

**★神戸物産「トロピカルスティックシャーベット、スティックシャーベット」 - 返金／回収　一部商品にてパッケージ内の個包装に液漏れ及びカビの発生が確認されたため　2022/6/3**

**★松西（これはおいしいアッハッハ）「自家製しめさば」 - 返金／回収　アニサキスによる汚染のおそれ　2022/6/3　食中毒の経緯は「食中毒」に掲載**

**★神戸物産「まぐろカツ」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2022/6/3**

**★マックスバリュ東海（太閤店）「白身魚のハーブ&チーズパン粉焼き 加熱調理用」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：22.6.6、正：22.6.1）　2022/6/2**

**★資生堂「モアリップN」 - 回収　初期生産3ロットの長期安定性試験(30ヶ月)の結果において有効成分の1つ(ピリドキシン塩酸塩)の含有量が経時変化により承認規格を下回る可能性があることが確認されたため　2022/6/2**

**★巴商事「ピーナッツバター」 - 返金／回収　サルモネラ菌混入の可能性　2022/6/2**

**★上野商事（よかもんね！ましき）「スクエアプレミアムモンブラン、スクエア生チョコティラミス」 - 返金／回収　賞味期限の表示漏れ、保存方法の誤表示　2022/6/2**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■介護老人施設の入所者60人食中毒　夕食のけんちん煮から“ウェルシュ菌”検出**

**6/8(水) 22:10配信　静岡放送（SBS）****静岡県島田市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7bc65bc7f28054ee124a216e8b02280805f006fe>

**食中毒発生速報（第３号）　2022/6/8　静岡県島田市**

**ウエルシュ菌**

<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/kisha.nsf/c3db48f94231df2e4925714700049a4e/275bf940a2473ba84925885b0011706c?OpenDocument>

　１　発生の概要

令和４年６月３日（金）に島田市内の介護老人保健施設に入所していた137人中60人が、４日の午前２時頃から下痢、腹痛等の症状を呈していることが判明しました。

　中部保健所は、患者の共通食が当該施設で調理された食事に限られること、　患者の症状が類似していること、患者、調理従事者の便及び保存食からウエルシュ菌が検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出がなされたことから、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定し、当該施設に対して６月８日（水）から当分の間、営業禁止を命じました。

２　発生の探知 令和４年６月４日（土）　午前10時頃　　当該施設から

３　患者の状況

（１）発生年月日 令和４年６月４日（土） 午前２時頃

（３）患者数等 患者　60人

（患者内訳）男性12人（72～98歳）、女性48人（70歳～99歳）

（４）主な症状 下痢、腹痛

なお、食中毒症状により重篤となった方はおらず、現在症状のある方はいない。

４　原因食品　令和４年６月３日（金）夕食に提供された料理（けんちん煮）

５　摂取食品（主なメニュー）ご飯、味噌汁、けんちん煮、アスパラの炒め物、もずくの山かけ

６　病因物質　ウエルシュ菌

７　原因施設　医療法人社団共生会介護老人保健施設エコトープ

業種　飲食店営業

８　措置内容　営業禁止命令　６月８日から当分の間（６月４日から営業を自粛）

９　検査の状況

患者便23検体　23検体からウエルシュ菌検出

調理従事者便　11検体　８検体からウエルシュ菌検出

施設職員　１検体　１検体からウエルシュ菌検出

保存食　24検体　１検体（けんちん煮）からウエルシュ菌検出

10　担当保健所 中部保健所（電話番号054-644-9283）

（参考）県内の食中毒発生状況（令和４年次）令和４年６月８日現在 ３件115人 (本件含む)

前年同期 　 ３件 95人

**■陸自隊員267人が下痢や腹痛…便と食べた弁当から食中毒の原因となる『ウエルシュ菌』検出 店を営業禁止に　6/8(水) 21:19配信　東海テレビ　愛知県春日井市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/20a6f7d90899a8e0382a042a2c04633baf07383f>

**食中毒の発生について　2022/6/8　　愛知県春日井市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/syokuchuudoku220608.html>

下表のとおり食中毒が発生しました。

食中毒事例

処分年月日　2022年6月8日

業種等　飲食店営業

施設の名称　株式会社マルイチ　春日井営業所

原因食品　5月30日（月曜日）に当該施設が製造・提供した弁当

病因物質　ウエルシュ菌

行政処分等の内容　営業の禁止

適用条項　食品衛生法第6条違反

行政処分等の理由　食中毒病因物質に汚染された疑いのある食品を提供したこと

発症者数　267名

死者数　0名

備考　発症者数は発表時点のものです。

**■宮崎県宮崎市の福祉施設で集団食中毒**

**6/5(日) 18:26配信　MRT宮崎放送　宮崎県宮崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b0aa9e187f99f38e1093bc976b14252c2e54a6a8>

**宮崎市で食中毒　弁当を食べた41人が腹痛・下痢の症状**

**6/5(日) 12:17配信　宮崎ニュースUMK　宮崎県宮崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7f07644ffdc6547959bb8223d1496fb187c96c6c>

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分　2022/6/2　千代田区**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/shokuhin/kanshi/ihansha.html>

　公表年月日　令和4年6月2日

営業者等の氏名　アジェ有楽町　業種　飲食店営業

処分等の対象となった違反食品等

5月13日および14日に上記施設で提供された食事

（牛タンユッケを含む）

処分を行った理由　食中毒の発生

処分の内容　営業等停止命令（令和4年6月2日から8日までの7日間）

処分等を行った措置状況

発症者のふん便から、腸管出血性大腸菌O157が検出されています。

**■２０代女性２人が食中毒…焼き鳥を食べて腹痛・発熱　カンピロバクターを検出　飲食店を営業停止に　6/8(水) 8:43配信　埼玉新聞****埼玉県さいたま市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/331c5cd5b683080a1ea81fde30ab24bec28f6761>

**食 中 毒 事 件 の発 生 について　2022/6/7　埼玉県さいたま市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.saitama.jp/002/002/010/003/001/p040036_d/fil/0607happyo.pdf>

１ 事件発生の探知

令和４年６月２日(木)、川口市保健所からさいたま市に「５月２５日（水）にさいたま市内の飲食店を利用した４名のうち、２名の検便からカンピロバクター・ジェジュニが検出された。」旨の通報があったとの情報提供があり、調査を開始しました。

２ 調査結果（発表日現在）

1. 喫食者数：１グループ４名
2. 患 者 数：２名（２０代女性）
3. 喫食日時：令和４年５月２５日(水)１９時半頃
4. 発症日時：令和４年５月２７日(金)２０時頃半頃から令和４年５月２８日(土) １６時頃
5. 主な症状：腹痛、下痢、発熱 ※患者は既に回復しています。
6. 病因物質：カンピロバクター
7. 原因食品：令和４年５月２５日(水)に当該飲食店が調理、提供した食事
8. 原因施設　営業施設 やきとり鳥蔵

営業の種類 飲食店営業

３ 上記施設を原因施設と断定した理由

1. 発症者全員の共通食が「やきとり鳥蔵 ｣で提供された食事に限定されたこと。
2. 発症者２名からカンピロバクターが検出されたこと。
3. 潜伏時間、症状等の疫学的事項がカンピロバクターによる食中毒と一致したこと。
4. 患者を診察した医師から食中毒の届出が提出されたこと。

４ 行政処分の内容

さいたま市保健所は、食品衛生法に基づき、原因施設に対して以下の行政処分を行いました。

1. 処 分 年 月 日：令和４年６月７日（火）
2. 営 業 停 止：３日間（令和４年６月７日から令和４年６月９日）

５ 指導内容

さいたま市保健所では、食中毒の再発防止を目的として、営業者、従業員に対する衛生教育等を行います。

６ その他

さいたま市保健所では、引き続き市内の飲食店等に対し衛生管理の徹底を喚起していきます。

**■【行政情報追加】テイクアウトで３人食中毒 飲食店を３日間の営業停止に**

**06月01日　20時27分　福島 NEWS WEB****福島県いわき市**

**カンピロバクター**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukushima/20220601/6050018732.html>

**食中毒発生情報（2022年６月）　2022/6/3　福島県いわき市**

**カンピロバクター**

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1654072927145/index.html>

　食中毒の発生について

　市内の飲食店で食中毒が発生しましたのでお知らせします。

経緯

　　令和４年５月29日に、市民より「５月27日から下痢、発熱等を呈し、知人及び家族にも同様の症状を示す者がいる。共通の食事もあり、食中毒が疑われるため調査して欲しい。」との通報を受け直ちに調査を開始しました。

調査結果

　　調査の結果、発症状況及び喫食状況などの疫学的調査並びに微生物学的検査により、次の事項が判明したことから、本件を当該飲食店の食事を原因とする食中毒と断定しました。

1. 発症者（１グループ３名）の共通食は、当該飲食店で調理・提供された馬レバ刺しに限られる。

2. 発症者便（２名）から、カンピロバクターが検出された。

3. 主な症状が、下痢、発熱、腹痛、頭痛、倦怠感等であり、既知のカンピロバクターによる症状と一致する。

4. 潜伏期間が42～71時間であり、既知のカンピロバクターの潜伏期間（１～７日）と一致する。

発生状況　発症者関係

発症日時　令和４年５月27日　午前10時から

症状　下痢、発熱、腹痛、頭痛、倦怠感等

発症者数　 総数３名

（内訳）男性：２名（47歳、15歳）、女性１名（50歳）注：患者所在地：市内３名

通院患者数　３名（入院なし）

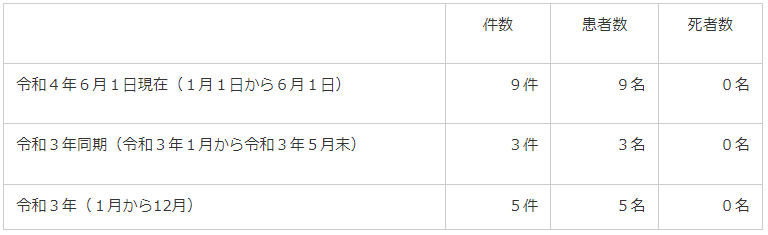
原因食品　馬レバ刺し

病因物質　カンピロバクター

原因施設　屋　号：お食事酒処　和　業　種：飲食店営業（料理店）

行政措置　営業停止処分　令和４年６月１日から３日までの３日間

参考　本市管内における食中毒の発生状況（本件を含まない）



**■令和4年度の京都府における食中毒発生状況　2022/5/27****京都府京田辺市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.kyoto.jp/seikatsu/shokutyuudoku.html>

　発病月日　2022/5/27

　原因施設所在地　京田辺市

　摂食者数　5

　患者数　3

　原因食品　5月24日に提供された食事

　原因物質　カンピロバクター

**食中毒の発生について　2022/6/3　京都府京田辺市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/44syokutyudoku.html>

令和4年5月30日（月曜）、山城北保健所が食中毒を疑う患者の発生を探知し、直ちに調査した結果、京田辺市内の飲食店が提供した食事を原因とする食中毒と断定し、令和4年6月3日（金曜）、山城北保健所長が同施設に対する営業停止処分を行いましたのでお知らせします。

探知の概要

5月30日（月曜）午後1時15分頃、下記飲食店を利用した者から山城北保健所に対し、「5月24日（火曜）に飲食店を5名で利用したところ、3名が下痢、発熱等の症状を呈している。」と連絡があった。

調査結果（6月3日（金曜）正午現在）

(1)初発日時：5月27日（金曜）午前10時

(2)有症者：1グループ5名中3名(男性3名：22～23歳）

うち2名が医療機関を受診し、入院者はなく既に回復している。

(3)主な症状：下痢、発熱、頭痛

(4)病因物質：カンピロバクター・ジェジュニ

(5)原因食事：5月24日（火曜）に当該飲食店が提供した食事

主なメニュー：焼き鳥もも、つくね、ささみユッケ、もも刺し身、若鶏唐揚げ等※原因となった食事に使用した鶏肉は、仕入れ時、「加熱用」の表示がされていたが、未加熱又は加熱不十分な状態で提供されていた。

原因施設

(1)屋号：キ楽屋

原因施設の特定理由

(1)有症者の共通の食事は、当該飲食店が提供した食事のみである。

(2)有症者の発症状況が類似しており、有症者2名の検便からカンピロバクター・ジェジュニが検出された。（保健環境研究所で検査を実施）

(3)有症者の症状と、カンピロバクターによる食中毒症状が類似している。

(4)患者を診察した医師から食中毒の届出があった。

山城北保健所の対応

(1)原因施設の立入調査（調理従事者の検便検査、衛生指導、施設の清掃・消毒の指示等）

(2)喫食者の調査（発症状況調査、喫食状況調査、検便等）

(3)食品衛生法の規定による営業停止処分

（6月3日（金曜）から6月4日（土曜）までの2日間）

※なお、営業者は、6月2日（木曜）から営業を自粛しています。

**★寄生虫による食中毒★**

**■イカやイワシの刺身、すし食べて食中毒、胃からアニサキス　福井県小浜市の店で食事の滋賀県の女性、9時間後に症状　2022年6月8日 午後8時45分　福井新聞　福井県小浜市**

**アニサキス**

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1567094>

**■腹痛女性の胃から“アニサキス”　食中毒で飲食店一部営業停止処分**

**6/7(火) 19:33配信　tbc東北放送　宮城県仙台市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/27c88c850a9bdfe01952a2dce0298911999d613b>

**食中毒発生状況　2022/6/4　　宮城県仙台市**

**アニサキス**

<http://www.city.sendai.jp/sekatsuese-shokuhin/kurashi/anzen/ese/shokuchudoku/ichiran.html>

　発生月日　2022/6/4

　発生場所　宮城野区

　喫食者数　4

　患者数　1

　原因食品　刺身(カツオたたき、イワシ)(推定)

　病因物質　アニサキス

　原因施設　飲食店

**■釣ったサバを刺し身にして食べたら…男女２人が嘔吐や腹痛で入院、体内からアニサキス**

**6/5(日) 7:21配信　読売新聞オンライン****滋賀県大津市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/dfd7325d30ea1e33d68f34395c1e6949f2f3c26b>

**食中毒事件の発生について（令和 4 年第 2 号） 　2022/6/2**

**大津市内において食中毒事件が発生しましたのでお知らせします。　滋賀県大津市**

**アニサキス**

<https://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/4/220603.pdf>

発生日時 令和 4 年 6 月 2 日（木）午前 1 時 00 分

発生場所 大津市、家庭内

発症者等

発症者数 ： 2 人 内訳 男性 ： 1 人 女性 ： 1 人 （30 代～60 代）喫食者数 ： 4 人

発生状況

（概要）

令和 4 年 6 月 2 日（木）午後 7 時頃、大津市内の医療機関から大津市保健所あて、アニサキス感染症に関する食中毒患者等届出票の提出があったことから調査を行った。

大津市保健所の調査の結果、患者は 6 月 1 日（水）に自身が福井県沖で釣り上げ、家庭で調理したサバの刺身を家族 4 人で喫食した後、6 月 2 日（木）午前 1 時頃からかゆみ、腹痛、吐き気、嘔吐の症状を呈していた。

発症からさかのぼって 48 時間以内に生食した鮮魚介類は 6 月 1 日（水）夕食に喫食した刺身（サバ）に限られており、喫食までに冷凍工程はなかった。

患者の症状はアニサキスによる食中毒と一致していること、医療機関において患者の胃からアニサキス虫体が摘出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったこと、原因食品は潜伏期間及び喫食の状況から家庭で調理されたサバの刺身以外にないことから、家庭で調理されたサバの刺身を原因とする食中毒と判断した。

症 状　軽 症： 0 人　中等症： 2 人　重 症： 0 人　かゆみ、腹痛、吐き気、嘔吐

現在の病状 快方に向かっている

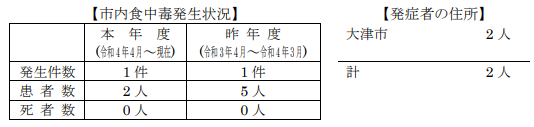
献立内容 サバの刺身

原因食品 刺身（サバ）（確定）

病因物質 アニサキス

原因施設 家庭（大津市内）

措 置 患者に対し、アニサキス食中毒予防に関する啓発を行った



**■食中毒の発生について　2022/6/3　山口県山口市**

**アニサキス**

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/158621.html>

　　次のとおり、山口市内の魚介類販売業者が調理・販売した食品を喫食した者から、食中毒患者が発生しました。

1　情報の探知

　6月2日（木曜日）、患者を診察した医療機関から防府保健所に連絡があり、患者の居住地及び原因施設を管轄する山口環境保健所が調査を行った。

2　患者等の状況（6月3日（金曜日）12時現在）

　5月30日（月曜日）に原因施設が調理した食品を、6月1日（水曜日）に同施設で購入し、　同日21時に喫食した1人が腹痛、嘔気の症状を呈した。

なお、患者は快方に向かっている。（入院なし）

3　主症状　腹痛、嘔気（患者の初発：6月2日（木曜日）3時頃）

4　原因施設　・業　種　魚介類販売業

5　原因食品　原因施設が5月30日（月曜日）に調理したしめさば

6　病因物質　アニサキス（推定）

7　措　置

山口環境保健所長は、営業者に対し、6月3日（金曜日）14時から6月4日（土曜日）24時まで、食品衛生法に基づき当該施設の営業の一部（冷凍又は加熱されていない魚介類等の調理及び販売）の停止を命じ、食品衛生管理の改善を指導中である。

8　備　考

営業者は、原因食品となった「自家製しめさば」を計12パック販売しているため（患者喫食分を含む。）、6月3日（金曜日）に自主回収に着手し、食品衛生法に基づく「自主回収届（着手）」を山口環境保健所に提出した。

**■食中毒の発生について　2022年06月03日　神奈川県平塚市**

**記者発表資料（県政・平塚記者クラブ同時発表）**

**アニサキス**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/prs/r4058596.html>

6月1日(水曜日)、平塚市内の飲食店を利用した人から、「5月30日(月曜日)に飲食店で食事をした後、腹痛等の症状を呈し、5月31日(火曜日)に医療機関を受診したところ、胃から寄生虫（アニサキス）が摘出された。」旨の連絡が平塚保健福祉事務所にありました。

　当保健福祉事務所で調査を行ったところ、原因と考えられた食品は当該飲食店が提供した食事だけであること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、この飲食店が提供した食事を原因とする食中毒と決定しました。

1　摂食者数　1名（男性：1名）（調査中）

2　患者数　1名（男性：1名）（調査中）

3　入院者数　0名

4　主な症状　腹痛、頭痛など

5　原因施設　名　称　まぐろ屋大将　業　種　飲食店営業

6　原因食品　小樽丼（しめ鯖、サーモンなど）

7　病因物質　アニサキス

8　措置　原因施設に対して、6月3日(金曜日)から6月4日（土曜日）まで営業停止

**■食中毒（疑い）が発生しました　2022/6/2　福岡県柳川市**

**アニサキス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220602.html>

　１　事件の探知

　 令和４年６月１日（水）、柳川市内の医療機関から、刺身等を食べて食中毒様症状を呈した患者を診察し、胃アニサキス症 と診断した旨、南筑後保健福祉環境事務所に届出があった。

２　概要

　　南筑後保健福祉環境事務所が調査したところ、柳川市や大牟田市のスーパー等で購入した刺身やすしを自宅で喫食した１名が、５月３０日（月）午後５時頃から食中毒症状を呈していることが判明した。

　　現在、同事務所において、食中毒疑いとして調査を進めている。

３　発生日時　判明分：令和４年５月３０日（月）午後５時頃

４　摂食者数　調査中　判明分：１名

５　症状　判明分：腹痛、倦怠感

６　有症者数　調査中　判明分：１名（５０代男性）

医療機関を受診し、5月31日に入院し、6月1日に退院している。

重篤な症状は呈しておらず、ほぼ回復している。

７　原因施設、原因食品、病因物質

　　（１）原因施設：調査中

　　（２）原因食品：調査中

　　（３）原因物質：アニサキス

８　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（６月２日現在。調査中の事件を除く。）

電車, 跡, 座る, 横 が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■食品等取扱い施設に対する行政処分　2022/6/1　神奈川県相模原市**

**アニサキス**

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kenko/shokuhin/1007409.html>

　行政処分の内容

公表年月日　令和4年6月1日

業種等 魚介類販売業

施設の名称　山助　淵野辺店

主な適用条項　第6条第3号

不利益処分等を行った理由 食中毒

不利益処分等の内容　営業の一部停止1日間

備考

原因食品：令和4年5月25日に加工し販売された刺身（キンメダイ）

病因物質：アニサキス

5月26日から患者1名が腹痛、吐気

**■令和4(2022)年栃木県内の食中毒事例　2022/6　栃木県県西保健所管内**

**アニサキス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/life/shokuseikatsu/chuudoku/r4syokucyudoku.html>

　原因物質　アニサキス

原因食品　不明

　原因施設　家庭

　喫食者数　2

　患者数　1

**■令和4年発生状況　2022/5/31　山形県庄内町**

**アニサキス**

<https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/r4jokyo.html>

発生年月日　2022/5/31

　探知年月日　2022/6/1

　喫食者数　4

　患者数　1

　原因施設　家庭

　原因食品　イワシの刺身（推定）

　病因物質　アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■食中毒（疑い）が発生しました　2022/6/2　大分県大川市**

**植物性自然毒　ソラニン?**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20220602-2.html>

　　次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。

１　事件の探知

　令和４年６月２日（木）、大川市内の医療機関から、食中毒様症状を呈している患者７名を診察した旨、南筑後保健福祉環境事務所に届出があった。

２　概要

　　南筑後保健福祉環境事務所が調査したところ、大川市の小学校で栽培したジャガイモを収穫し、６月２日（木）にそのジャガイモを蒸して、午前１１時５０分頃から喫食した教員２名と児童５名が嘔気等の症状を呈していることが判明した。

　現在、同事務所において、食中毒疑いとして調査を進めている。

３　発生日時　調査中　判明分：令和４年６月２日（木）午後０時頃

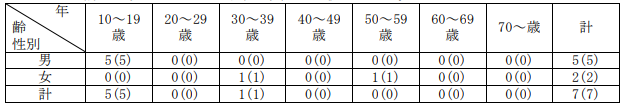
４　摂食者数　調査中　判明分：７名

５　症状　調査中　判明分：嘔気等

６　有症者数　調査中　判明分：７名（男性５名、女性２名）

７名全員が医療機関を受診しているが、入院はしていない。

重篤な症状は呈しておらず、全員ほぼ回復している。



７　原因施設、原因食品、病因物質　調査中

８　検査　福岡県保健環境研究所で残品等を検査予定

９　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（６月２日現在。調査中の事件を除く。）



**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌「Ｏ２６」高校生１３人が集団感染　広島県**

**感染症　腸管出血性大腸菌Ｏ２６**

<https://www.fnn.jp/articles/-/368530>

　　広島県の西部保健所管内にある高校の寮で、腸管出血性大腸菌Ｏ２６（オーにいろく）に生徒１３人が感染したことがわかりました。

県感染症・疾病管理センターによりますと、５月２４日に医療機関から腹痛を訴えている患者１人からＯ２６が検出されたと届け出がありました。

保健所は患者が高校の寮で生活していたため、ほかの生徒１１３人を調べたところ、さらに１２人の感染がわかりました。

いずれも腹痛や下痢または無症状で、重症者はいないということです。

保健所は集団感染とみて寮の食事を調べましたが問題ありませんでした。

保健所は感染原因を調べるとともに、Ｏ２６の感染症は夏場に多く発生するため、十分に手洗いを行うことや集団生活では下痢の症状がある時は湯船につからず、シャワーやかけ湯にするよう呼び掛けています。

**★ウイルスによる感染症★**

**■マダニ感染症で発熱や食欲不振　８０代女性、畑仕事で下半身刺されたか　兵庫県で７例目**

**6/8(水) 17:24配信　神戸新聞NEXT**

**感染症　マダニ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/af9c4b6c2c2ecc7ef7123f8b294699c86c451295>

**■マダニ等が媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！　静岡県賀茂保健所管内**

**～今年初めての「日本紅斑熱」患者が確認されました～　2022/6/7**

**感染症　マダニ**

<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/kisha.nsf/c3db48f94231df2e4925714700049a4e/cef5f844762e78e4492588590029132e?OpenDocument>

１　要旨

　令和４年６月６日、県賀茂保健所管内で「日本紅斑熱」の患者が確認されました。患者は20歳代の男性で、すでに症状は軽快しています。

　県内で日本紅斑熱の患者が確認されたのは、今年に入ってからは初めてです。春から秋にかけてマダニの活動が盛んになる時期です。レジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入るとマダニに咬まれることがあります。マダニが病原体を保有していると、咬まれた人が「日本紅斑熱」、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」などの感染症にかかる危険性があります。これらの疾患にかからないようにするために、野外でのダニ対策が重要です。

　日本紅斑熱の患者は、過去５年間では５月頃から11月頃まで確認されています。患者が発生しやすい時期は、マダニに咬まれないよう十分注意しましょう。

　報道機関各位におかれましては、感染者及び感染者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格別の御配慮をお願いします。

２　患者について

　（１）概要

　賀茂保健所管内在住の20歳代男性が４月25日に頭痛、４月26日に発熱がみられたため、４月27日に賀茂保健所管内の医療機関Ａを受診し、テトラサイクリン系抗菌薬投与等の処置を受け当日中に解熱し、２日程度で軽快しました。入院はしていません。

　患者は日頃から近隣地域の山に入ることが多いため、ダニが媒介する感染症が疑われ、県環境衛生科学研究所で紅斑熱群リケッチア、つつが虫病リケッチア及びSFTSウイルスの遺伝子検査を実施しましたが、全て陰性でした。その後、５月11日に経過観察のため医療機関Ａを再度受診し、血清を用いた間接蛍光抗体法を県環境衛生科学研究所で行ったところ、日本紅斑熱リケッチアに対する抗体の陽性が確認されました。

　（２）主な症状

　　　　頭痛、発熱、発疹

　（３）患者確認に至った経緯など

　４月25日　・頭痛

　４月26日　・発熱

　４月27日　・医療機関Ａを受診（救急）

　　　　　　　・腹部等に細かい紅斑あり、ダニの刺し口は認められなかった

　　　　　　　・テトラサイクリン系抗菌薬投与により解熱、入院はしなかった

　　　　　　　・県環境衛生科学研究所の検査では紅斑熱群リケッチア、

　　　　　　　　つつが虫病リケッチア及びSFTSウイルスの遺伝子検査は全て陰性

　５月11日　・医療機関Ａを受診（経過観察）、症状は軽快

　６月３日　　・５月11日に採取した血清を用いた間接蛍光抗体法により

　　　　　　　　日本紅斑熱リケッチアに対する抗体陽性

　　　　　　　　（４月27日の血清では抗体陰性）

　６月６日　　・医療機関Ａから発生届が提出された

　（４）推定感染経路

　日頃から山に入ることが多いため、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに咬まれたことにより感染したと推定されます。推定感染地域は賀茂地域です。

３　日本紅斑熱について

（１）感染経路

日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有するマダニに咬まれることで感染します。

人から人へ感染して広がることはありません。

（２）症状・治療

マダニに咬まれてから２～８日で、発熱、発疹を呈し、重症化すると死に至ることもあります。

治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効という報告もあります。

４　県内の日本紅斑熱の患者数（令和４年は６月６日現在）

　　本県では、平成12年から令和４年まで42名の患者が届出されており、届出患者の住所地は、県東部31名、県中部１名及び県西部４名、その他（県外）が６名。

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル, カレンダー

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テーブル, Excel

自動的に生成された説明

５　重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

（１）概要

感染経路は、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることが中心ですが、血液等の患者体液との接触や、マダニに咬まれSFTSウイルスに感染している犬や猫の体液から感染することも報告されています。

マダニに咬まれてから、6日から14日の潜伏期間の後、発熱、消化器症状などが現れ、重症化した場合には、死に至ることもあります。

県内では、令和３年３月５日に初めて患者が報告され、令和３年に４例（県西部地域２例、中部地域２例）、今年は２例（県西部地域１例、中部地域１例）が報告されています。

テーブル

低い精度で自動的に生成された説明

　注意喚起

(１)マダニに咬まれないようにしましょう！

特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。

野山や草むら、畑などに入る場合は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。

マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(２)屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。

発熱・発疹の症状が見られたら、早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

　 (３)ペットに付着して、マダニが家の中に入ってくることもあります！

飼育している犬や猫にもダニ駆除剤を使用しましょう。

できる限り猫は室内飼いにして外に出さないようにしましょう。

**■猫の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)症例の発生について　2022/6/1　鳥取県鳥取市**

**感染症　マダニ**

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.city.tottori.lg.jp%2Fwww%2Fhoudou%2Fcontents%2F1654058979555%2Ffiles%2F20220601.doc&wdOrigin=BROWSELINK>

　　令和４年５月３０日、猫の重症熱性血小板減少症候群(SFTS：Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome)の症例が確認されましたのでお知らせします。

項 目 内 容

症 例 猫 １０歳 飼い主の住所地 鳥取市 飼育環境 室内及び屋外

経 過 ５月２２日 元気食欲低下 ５月２３日 １回嘔吐 ５月２５日 １８時 動物病院を受診 重度の黄疸、横臥状態で意識レベル低下、白血球及び血小板の減少。 帰宅後２０頃死亡 ５月３０日 国立感染症研究所で検査を実施し、SFTS確定。

※ 現時点で、飼い主には症状は認められていません。

※ 飼い主のプライバシーの確保に十分な配慮をお願いします。

～重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは～ 主にウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染するダニ媒介感染症です。 人と動物の共通感染症であり、国内では西日本を中心に人及び動物（犬、猫）の感染症例が報告されています。 ※重症熱性血小板減少症候群(SFTS)についての詳細は、裏面に記載しています。

報道機関各位におかれましては、以下の啓発についてよろしくお願いします。

稀な事例ではあるものの、SFTSを発症した犬や猫から人へ感染する事例が報告されています。 ペットがダニに咬まれないようにするとともに、体調不良のペットを取り扱う場合は、次のことに注意してください。

○ ペットがダニに咬まれないよう、ダニの駆虫薬を定期的に投与しましょう。

○ ペットに付着しているダニは適切に駆除しましょう。

○ ペットが体調不良の際は、直ちに動物病院を受診しましょう。

○ 体調不良のペットを触る場合は、手袋を着用し、ペットに咬まれないよう注意しましょう。 ○ SFTSを含めた動物由来感染症の感染を防ぐため、ペットとの過剰な触れ合いは控えましょ

う。

○ 飼い主が体に不調を感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。受診する際は、ペットの飼育状況やペットの健康状態についても医師に伝えてください。

**★その他関連ニュース★**

**■噴火湾東部海域産ホタテガイの出荷規制について［水産経営課］　北海道**

テーブル

自動的に生成された説明